

大切な 甲賀市の自然 ⑦

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

里山の花 イヌセンブリ



●イヌセンブリ

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

10月の
休園日

2(月)、10(火)、16(月)、
23(月)、30(月)

センブリといえば、千回振り出しても苦く、胃の薬として知られています。この植物はセンブリに似ているのですが、口してみると苦味がありません。センブリのように薬に利用できないことから、イヌセンブリと名がつけられました。見分けにくいのですが、センブリより全体に少し大きく、葉がふといのがイヌセンブリです。(写真)

リンドウ科の植物で、高さ、15～30センチ、一年草または越年草です。10月、直径1.5センチの白い星のような花が咲きます。

センブリは日当たりのよい山野に生えますが、イヌセンブリは水田やため池の土手など、湿り気があり、適時、草刈りが行われる里山を生育の場としてきました。

生育してきた環境が変わったのでしょうか、近年、全国的に絶滅が心配される植物の一つとしてあげられ、滋賀県の「大切にしたい滋賀の野生生物」(2005)では絶滅危機増大種として掲載されています。

甲賀市では、小さなため池の上部の狭い草地で、10株ほどのイヌセンブリが白い花をつけているのが確認されていますが、すぐ近くまで開発されていることもあり、この植物のこれからは気になります。

甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲賀町文化協会からお寄せいただきました。

甲賀町俳句同好会 北川 溪舟 選

- ・ 羅にまざる木綿の作業服 村長きよこ
- ・ 草も木も微動だにせず炎暑かな 中島てる子
- ・ 羅や人悲し暮れ暮れ 瀬古 一郎
- ・ 青春を弾けて炎ゆる甲子園 奥山 康雄
- ・ うすものに懐紙透かせてお正容 山下きよ乃
- ・ 羅の僧忙しくバイク来る 藤原 耕生
- ・ 背戸開けて這入る吾が家も木下閣 山下 鈴霞
- ・ 炎暑にも屈せぬ力老いの意地 松本みさ枝
- ・ 昏てなお暑さまといぬ道祖神 立岡 由子
- ・ 口癖の暑さの内に日が暮れる 藤橋阿さ江

鹿深句会 条田 美智子 選

- ・ 朝採りのトマト艶よくはげけり 藤縄よしみ
- ・ 汗みどろ草刈機械音しげく 林井 道乃
- ・ 活け替えて水子地藏に初夏の風 東 美智代
- ・ ひょうきんな奴の所作や祭笛 大北 のぶ
- ・ 人力車並ぶ公園梅雨晴間 山下 淑子
- ・ 草津線視野一望の青田波 山下 美幸
- ・ 向日葵や短く育て小庭かな 堀 小夜子
- ・ 万緑の高原鉄道谷探し 茂田 悦子
- ・ 天守より五月雨煙る琵琶の湖 松島 初江
- ・ 雲の峰雲に雲湧き広がる 糸田美智子

甲賀川柳 井上 謹三 選

- ・ 年金の通帳だけが頼りです 立岡 由子
- ・ イラク撤退ニュース聞いてほっとする 藤橋 淑子
- ・ 孫の婚母は涙をそっと拭き 山下とめの
- ・ カードだけ通帳何処にしまったか 奥山 康雄
- ・ 母と娘束ね髪までよく似合い 岡本みつ子
- ・ 勿体ない我が家飛び交う日々となり 隠岐 信子
- ・ 一休み切り株椅子に峠道 藤原 良子
- ・ 耳底に君が代消えぬ戦中派 山下きよ乃
- ・ 商いは人格も売り繁盛す 藤橋阿さ江
- ・ 外国で聞く君が代はジーンと来る 北川 溪舟

次号(11月1日号)は、あいの土山文化協会の予定です。